

# EU Indicators

## 欧州経済指標コメント：9月ドイツ鉱工業生産・貿易収支

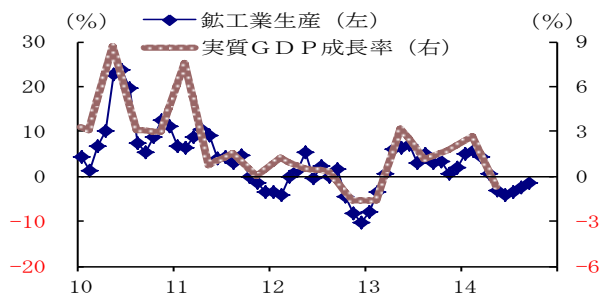
発表日：2014年11月7日(金)

～反発はしたけれども・・・～

第一生命経済研究所 経済調査部  
 首席エコノミスト 田中 理  
 03-5221-4527

- 9月のドイツの鉱工業生産は前月比+1.4%と前月（同▲3.1%）の落ち込みから反発した。事前のコンセンサス予想（同+2.0%）を下振れしたが、8月値が上方修正（改定前は同▲4.0%）されており、概ね予想通りの結果であったと言える。ただ、8月の落ち込みが響き、7-9月期の鉱工業生産は前期比▲0.3%と2四半期連続の減産にとどまった（4-6月期は同▲1.1%）。
- 他方、9月のドイツの輸出は前月比+5.5%と前月（同▲5.8%）から大きく反発。輸入も同+5.4%と大きく増加したことから（前月は同▲1.3%）、季節調整後の収支戻改善は小幅にとどまった（前月：+175億ユーロ→今月：+185億ユーロ）。7-9月期平均の貿易黒字は+194億ユーロと、4-6月平均の+175億ユーロから黒字幅が拡大。ここから7-9月期GDPの外需寄与度は小幅プラスと見込まれる。
- 今年の8月は夏季休暇の時期が後ずれ、自動車の新車投入タイミングもずれ込んだことから、受注、生産、輸出統計が軒並み落ち込んでいた。9月は予想通り揃って反発したが、6日発表の受注統計の反発が弱く、企業マインドの悪化も続いており、景気回復のモメンタムは悪化してきている。
- 9月の生産の反発が弱く、14日に発表される7-9月期のドイツの実質GDP成長率が再びマイナスとなる恐れもある（4-6月期は前期比▲0.2%）。その場合、特殊要因があったにせよ、ドイツ景気までもがテクニカル・リセッションに陥ることになり、欧州景気への悲観論が再び高まる可能性がある。

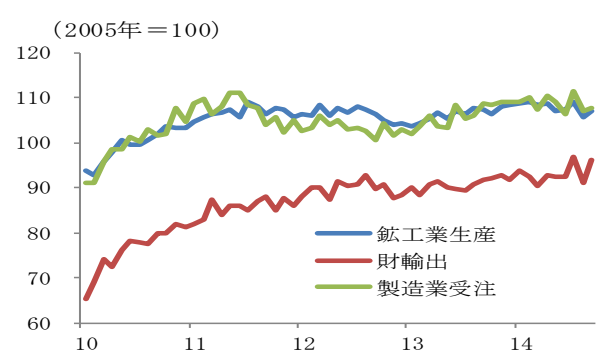
■ ドイツ：鉱工業生産と実質GDP成長率



注：鉱工業生産は3ヶ月移動平均、3ヶ月前比年率。  
 実質GDP成長率は前期比年率。

出所：ドイツ経済技術省、ドイツ連邦統計局

■ ドイツ：鉱工業生産、製造業受注、財輸出



出所：ドイツ経済技術省、ドイツ連邦統計局

■ ドイツの鉱工業生産（季節調整済み、前期<月>比、%）

	2013				2014				2014				2014			
	4Q	1Q	2Q	3Q	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	
鉱工業生産	0.5	1.1	-1.1	-0.3	0.5	0.2	-0.6	0.2	-1.6	0.4	1.6	-3.1	1.4			
製造業・鉱業	1.0	1.0	-0.6	-0.4	0.0	0.4	-0.4	0.5	-1.6	0.2	2.3	-4.0	1.6			
中間財	1.6	0.9	-1.0	-0.9	-0.2	0.9	-0.7	0.7	-2.3	0.3	0.8	-1.5	-0.2			
資本財	0.5	1.1	-0.3	0.1	0.3	0.0	-0.3	0.1	-0.2	-0.4	4.6	-7.9	4.5			
消費財	1.2	0.9	-0.4	-0.6	-0.5	0.1	0.4	1.0	-3.4	1.9	-0.2	0.0	-1.4			
耐久財	-1.6	1.8	-0.7	-2.1	-1.5	2.8	0.9	-2.1	-1.1	2.2	-0.4	-3.4	-1.7			
非耐久財	1.8	0.6	-0.3	-0.2	-0.3	-0.5	0.3	1.7	-3.8	1.8	-0.1	0.7	-1.3			
エネルギー	-3.1	-3.0	-0.1	-0.4	0.8	-3.1	1.4	-0.4	0.7	0.0	-3.9	4.0	2.4			
建設	-0.6	4.6	-5.0	-0.2	3.2	1.8	-4.3	-0.9	-3.4	1.4	1.0	-0.9	-1.2			

出所：ドイツ経済技術省

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。